会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業（２）教職員の資質能力向上の推進　①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回事業推進委員会 |
| 開催日時 | 令和5年7月25日（木）10:00～12:00 |
| 場所 | リファレンス西新宿大京ビル貸会議室 |
| 出席者 | 委　　員：五十部　昌克、林　宏治、稲永　由紀（OL）、松本　晴輝、谷　昌一、山根　大助、鈴木　弘明(OL)、岡村　慎一、冨田　伸一郎、氏部　正（OL）、沖　直彦（OL）、松田　義弘(OL) 　　　　　　計12名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　 　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計13名 |
| 議題等 | 〇委員自己紹介（各委員）〇事業目的及び事業推進委員会の内容について（五十部）・配布資料に基づき事業内容説明。【事業名】文科省委託事業『職業実践専門課程の一層の社会的評価向上のための共通的基盤整備の推進』【背景・目的】・私立学校法改正に伴い「教学マネジメント」「中期計画策定義務化と達成度評価」「情報公開内容の拡大」が求められる。・職業実践専門課程の更なる充実及び修学新支援制度との連動を踏まえ「自己点検・評価表の改訂」「学校関係者評価委員会」の充実を図る。・職業教育のマネジメントを自律的・継続的な質保証体制として整備するため内部質保証人材育成の普及促進体制の整備が必要。【3年間の事業実施に伴う成果物及び年次計画と目的】（１）自己点検・評価表及び運用ガイドライン改訂版の作成・私立学校法改正・専修学校設置基準・修学新支援制度との接続を踏まえた自己点検・評価表及び運用ガイドラインの見直し（２）中期計画策定に関する手順書およびひな形の作成・中期計画策定事例等を収集・整理し、専門学校が行うべき中期計画策定の内容、範囲、深度等やそのプロセスを明確にする。・中期計画を策定したことのない専門学校や既存の中期計画をさらに充実させる。（３）学校関係者評価委員会運用ガイドラインの作成 ・学校関係者評価委員が学外の視点から基礎要件および学校の活動を評価すべき項目について整理し、学校関係者評価委員会の見直しを進める。（４）内部質保証人材育成講座の開発（５）内部質保証人材育成講座の担当講師養成講座の開発・中計の点検項目や自律的・継続的な質保証体制を整備する為、内部質保証人材育成をおこなう。〇今後のスケジュール（本資料末添付予定表参照）及び調査の調整（五十部）・本年度の実施事項は以下の通り（１）職業教育のマネジメント及び中期計画策定に関するインターネット・文献調査（２）中期計画を含む職業教育のマネジメントに関するアンケート調査（３）中期計画策定に関するヒアリング調査（４）職業教育のマネジメントに関するヒアリング調査（５）（１）～（４）の調査結果を自己点検・評価表改訂版及び運用ガイドライン改訂版に反映させる。（６）学校関係者評価委員会運用のための現地調査は11/M～12/Eに3校程度を予定（７）次回までに委員メンバーに依頼したいこと・職業教育のマネジメント及び中期計画策定に関するインターネット・文献調査途中経過・中期計画を含む職業教育のマネジメントに関するヒアリング項目案及び依頼文　の2点について随時Slack上にアップする予定→修正等の指摘をお願いします。-----------------------意見交換・学校関係者評価の運用ガイドラインの案件で3校をヒアリングする選定基準はどのようなことものか（林）・好事例については、アンケート等で情報収集する。選定基準に関してはアンケートと文献調査を通して検討する。職業教育のマネジメント調査の中にもその選定等に関連する事項を含めていきたい。（五十部）・ホームページ上での公開は、毎年苦労している。内容面で選定基準になるかわからないが、公開されている項目についてはある程度検討内容が拾えると思う。（谷）・議事録も簡素化している部分が多い可能性がある。（林）・中期計画を作っている学校は結構あると予測している。インターネット検索からある程度先進事例をピックアップできると思う。（冨田）・規模感をある程度念頭に入れたほうが良い。大規模校と単科の学校では取り組み内容に差がある。大規模校の取り組みを小規模校に提示しても取り組めるか疑問である。学校関係者評価を評価者が実際に行っているのかは重要。（山根）・規模、分野、エリアは大事だと感じている。（松本）・全専研としては、大都市圏というよりは、地方の学校にフォーカスしてスタンダードモデルを作っていきたい。職業教育のマネジメントはマネジメントしているのか、実行しているのかが重要。実質化がポイント。（岡村）・アンケートの調査をするときにはフェイスの部分である程度分類を設計しておくことが大事。ヒアリングのサンプリングの取り方の中では、大規模校はマネジメントサイクルを回すことは比較的やり易いが規模の小さい中小規模の専修学校にとっては、困難なことが想定される。このあたりの工面や外部機関をどのように利用しているのか等が重要ではないか。また、失敗事例等も集めることが重要だと考えるし。何が行われていることが成功事例であるということをしっかりと情報収集する必要がある。専修学校で成功事例が見つけられないとしたら他の学校種も視野に入れると良いデータがとれる気がする。（稲永）・手順書を作るなら、有効性を担保していけないと思うし、各校には実効性をもってマネジメントサイクルを回していただくことが重要。皆さん同様に規模と周りの環境については区分して集計する必要がある。（氏部）・ガイドライン、手順書、マニュアルはそれなりに存在しているが、それが理想系になっているかについては疑問である。（沖）・アンケート項目についてご意見はありますか？（五十部）・そもそもアンケート送り先である職業実践専門課程のリストを作るためには2週間程度の時間が必要となる。また、印刷等についても1週間程度の時間がかかることを念頭においてほしい。また夏休み等の予定を考えておく必要がある。（飯塚）・大学の調査がベースになってアンケート項目が設計されている印象である。今回の調査目的は何なのかを明確にする必要がある。（岡村）・中期計画をどのように作っているのかを明確にしたい。（五十部）・中期計画をそもそも作っている学校がどの程度いるのかが疑問である。内部質保証・職業教育のマネジメント関係を前の方で質問したほうが良い。三菱総研でも調査を実施するために私たちはさらに細部に関して調査をする必要がある。職業教育の観点から企業との関係性もしっかり聞くことが重要だと思う。情報開示や情報提供に関してもしっかりと聞いていく必要がある。誰を対象として何を情報発信しているのかなどがそれにあたる。抽象的な質問は専門学校に対してあまり有効ではない感じがする。（岡村）・yes or no　だけの設問ではなく。その逃げ道を作っておくことも大事。（松本）・スケジュールに関しては、リスケする。意見のある方はSlackにて投稿をお願いします。（五十部）・ヒアリング等については、調査結果を踏まえて今後検討していきたい。次回委員会にて具体化していきたい。（五十部）〇次回第2回会議の日程令和5年9月4日(月)13時～15時、場所、方法は調整中 |
| 配布資料 | ・第1回事業推進委員会資料・共通基盤整備事業ガントチャート・職業教育のマネジメントおよび中期計画策定に関するインターネット・文献調査 |

以